

令和5年度 学習計画(シラバス)

教科	科目	対象学年 コース	単位数	担当者氏名	教科書 著者 発行所	使用教材・発行所
地理歴史	地理B	3年 (理系)	2	飯田 康信	新詳地理B]片平岡文ほか9名 (帝国書院) 「新詳高等地図」(代)鈴木啓之 ほか5名 (帝国書院)	「新編地理資料2022」(とうほう) 「新地理の研究」(啓隆社)
指導の重点		現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
評価の観点		<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度 地理的事象に対する関心と課題意識と高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。 ・思考・判断・表現 地理的事象から課題を見だし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 ・資料活用の技能 地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 ・知識・理解 我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 				
学習の評価		1. 定期考査、小テストで「知識・理解」「思考・判断・表現」を評価する。 2. 授業中の態度、課題の提出状況等で、「関心・意欲・態度」「資料活用の技能」を評価する。 3. 1の評価に2を加味し、総合的に評価する。				
学期	月	考査	単元	学習内容	学習の目標(評価)	
1	4	中間	2章 資源と産業	6節 世界の工業	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の工業の現状と課題、日本の工業の課題を考察する。 ・世界を結ぶ交通・通信について、交通と通信の発達による一体化と地域差を考察する。 ・世界貿易や経済圏の現状と課題や、世界のなかでの日本の貿易や経済の現状と課題を考察する。 	
				7節 第3次産業		
				8節 世界を結ぶ交通・通信		
	5	6	3章 人口、村落・都市	1節 世界の人口	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の人口分布の特色や動態、人口構成や人口転換を考察する。 ・世界の人口問題を大観し、各国の人口問題の事例を考察する。 	
				2節 人口問題		
	6	7	4章 生活文化、民族・宗教	3節 村落と都市	<ul style="list-style-type: none"> ・村落・都市の立地や発達・機能を大観し、日本の都市の特徴を考察する。 ・生活文化について、衣食住を取り上げ、それらの分布や地域的差異と世界的な画一化について考察する。 	
				4節 都市・居住問題		
7	期末	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分	1節 地域区分とは何か	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界の国家について、国境と領域のきまりやさまざまな国家の分類について考察する。 ・地域区分とは何かについて、地域概念や地域区分の目的、意義を理解し、有用性に気づく。 		
			2節 地域区分のさまざまなスケール			
2	9	中間	2章 現代世界の諸地域	1節 地誌的考察方法	<ul style="list-style-type: none"> ・地形と気候、民族と人口、食生活と農業、工業化と経済発展、中国の動向と日本、韓国との交流という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 ・自然、歴史と文化・民族、農業と変化、ASEANと工業、ASEAN諸国の変化と諸課題という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 ・地形と気候、歩みとヒンドゥー教、インドの農業と農村、工業・IT産業という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 ・自然、イスラームの生活文化、交易と都市、資源と産業の面において、類似的な性格の二つの地域を比較して考察する。 	
				2節 東アジア		
				3節 東南アジア		
	10	11	4節 南アジア	7節 ヨーロッパ	<ul style="list-style-type: none"> ・気候と大地、ヨーロッパの成り立ち、域内の結びつき、農業と共通農業政策、移り変わる工業、これからのヨーロッパという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 ・歴史と社会の変化、変化した産業、極東ロシアと日本の結びつきという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 	
				5節 西アジアと中央アジア		
11	12	期末	8節 ロシア	<ul style="list-style-type: none"> ・移民の歴史と多様な地域性、産業及び経済の大国としての役割を静態的に考察するとともに、国内で抱える諸問題を動態的に考察する。 ・自然環境、文化、大土地所有制と農業の変化、工業化と生活の変化という特色ある事象と他の事象を動態的に考察する。 		
			9節 アングロアメリカ			
3	1	3章 現代世界と日本	10節 ラテンアメリカ	<ul style="list-style-type: none"> ・移民の歴史と多文化社会、強まるアジアとの結びつき、アジア諸国に輸出される農畜産物という特色ある事象を動態的に考察する。 ・現代世界における日本の特色について、多面的・多角的に考察し、日本が抱える地理的な諸課題を探究する活動を通して、その解決の方向性や将来の国土のあり方などについて展望する。 		
			11節 オセアニア			
			1節 日本が抱える地理的な諸課題			
2	3	2	2節 日本の抱える課題の追究			
3	3					